



# 議会だより

No. 52

2017年11月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 黒滝 松男  
編 集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信 始めました!

南魚沼市議会 録画配信

検索



### 朝陽に輝く 南魚沼コシヒカリ

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 地下水の採取に関する条例を可決しました       | 2、3   |
| 平成28年度一般会計決算質疑            | 4、5   |
| 平成28年度一般会計決算討論／平成29年度補正予算 | 6     |
| 常任委員会特別会計決算、付託審査          | 7、8   |
| 9月定例会議決結果                 | 9、10  |
| 一般質問 24名が市政を質す            | 11～18 |
| 常任委員会管内調査、要望会             | 19    |
| 北辰小学校議会傍聴・録画配信開始          | 20    |



# 条例の全部改正を可決!!

賛成18人／反対7人

## 改正で どう変わる？

### ● 新規消雪用井戸の掘削が可能に

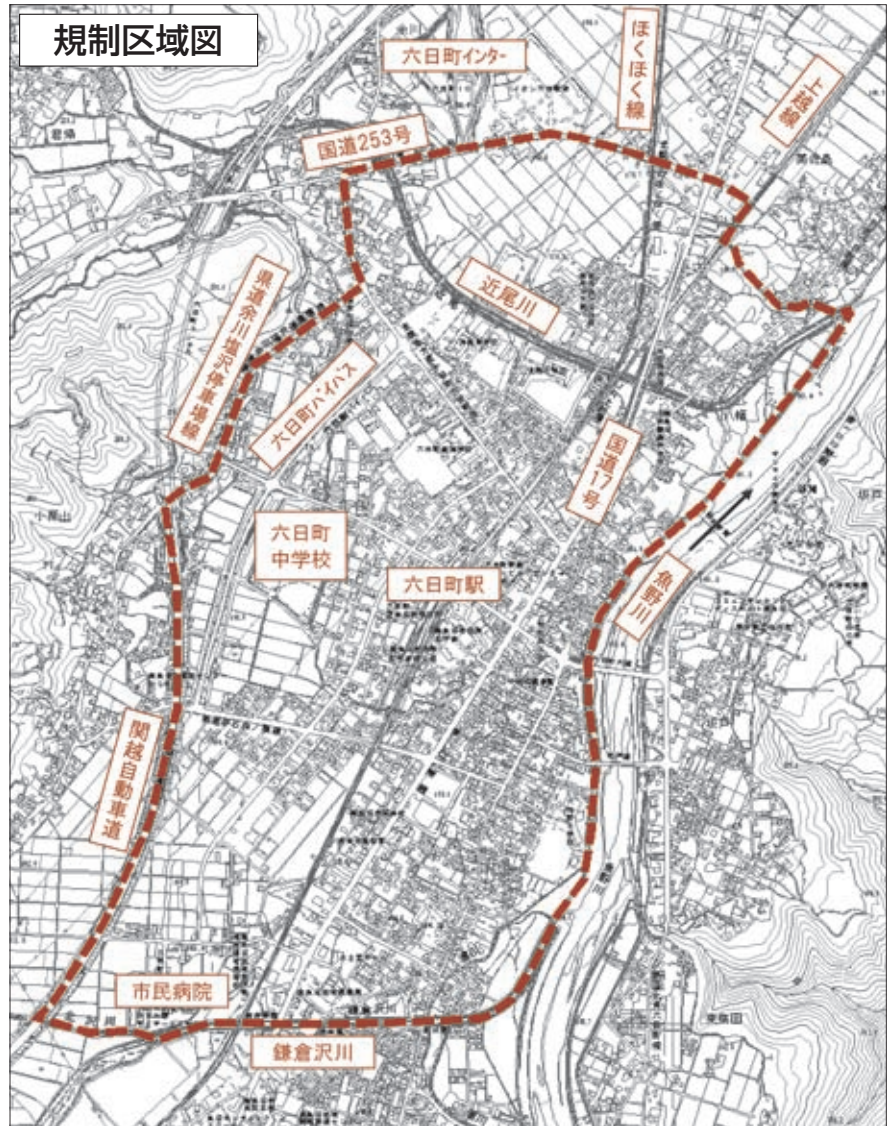
「重点区域」内で一定の要件のもと、新規消雪用井戸の掘削が可能になります。

### ● 新規井戸には降雪検知器を設置

井戸の新規設置及び既設井戸の変更・洗浄改修には間欠運転機能付き降雪検知器の設置が義務付けられます。既設の井戸は検知器の設置補助があります。

### ● 南魚沼全市民で節水

市民全員が「地下水は限りある貴重なみんなの共有財産」であることを認識し一定のルールを守って節水を実行しましょう。



**重点区域** 重点区域の外側はすべて「その他区域」

## 地下水採取の規制に関する経過

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 昭和44年   | 上水道水源井戸の保護を目的として、地下水採取の規制が始まる      |
| 昭和50年   | 新潟県と南魚沼市（旧六日町）で水準測量開始              |
| 昭和53年   | 区域を指定して、井戸、ポンプの口径等について規制をかける条例改正   |
| 昭和63年   | 消雪パイプによる地下水の大量くみ上げが地盤沈下の原因であることが判明 |
| 平成6年    | 「六日町地下水採取に関する条例」を制定                |
|         | 合併後もこの条例を引き継ぎ、一部を改正して運用            |
| 平成28年9月 | 前井口市長が平成29年9月定例会上册を目標に条例改正を表明      |
| 平成29年2月 | 条例改正に向けた住民直接請求が臨時議会で不採択            |



# 南魚沼市地下水採取に関する

## 質疑応答

Q & Aは、一部のみを掲載しています。

**Q**新規掘削を希望する井戸の数は把握しているか。

**A**井戸の業者に確認したところでは、30件に満たない。

**Q**消雪パイプの利用が集中する降雪時にどう周知し、節水を促すのか。

**A**災害となるような降雪時、第一に優先されるべきは自分の命、家屋を守る事だ。生命にかかわる規制はできないので、その後いかに早く水位を回復するためのフォローをするかが重要だと考えている。

**Q**公共消雪の水をどう節水するのか。

**A**この冬に最新の降雪検知器を実験した。改善は必要だが、市の井戸だけではなく、県にも導入を依頼している。節水効果を高めて、協力して取り組んでいく。

**Q**第3条第6項の判断は、どの程度を想定し、誰が判断をするのか。

**A**生活環境の被害とは、下水道の逆流や水道の破断など、社会インフラに被害が出ることを想定している。最終的な判断は、委員会ではなく市長が行う。家屋調査を継続する中で、一定の範囲で方向性への傾きが認められた場合、地盤沈下の影響と考え、専門家などの意見を聞き対策を考える必要がある。

※第3条第6項

市は、地盤沈下が著しく進行し、生活環境に被害が生ずると認められる場合は、期限及び区域を定め、その区域内における井戸の所有者の全部または一部に対し、井戸の使用の制限その他必要な措置を講じなければならない。

### 反対討論 (寺口友彦)

規制条例の制定目的であった、公害問題対策としてこの改正が有効か疑問だ。改正後の節水の効果に強い不安を感じる。慎重に事を進めるべきと考え反対討論とする。

### 反対討論 (中沢俊一)

市民に対しての準備、説明が不足している。流雪溝の整備、地下インフラの調査をしっかり行い、市が率先して節水の範を示さなければ市民の協力は得られない。慎重な努力を期待し反対討論とする。

### 反対討論 (阿部俊夫)

規制を外して指導基準のクリアは不可能だ。50年100年200年後、六日町は住めなくなるのではないか。今の人口減少よりもっと深刻な事態を私は心配する。更に先まで考え判断することが政治の責任と考え、反対討論とする。

### 反対討論 (日本共産党議員団)

条例改正の主な理由が、規制前に設置した井戸の更新時期では所有者の既得権を守るための改正と言われても仕方がない。規制緩和による影響など試算も行い、住民の理解と納得を得た上で進めるべきだと考え、反対討論とする。

### 賛成討論 (歩む会)

この地域全体の活性化は考えるべき、一番大事な問題である。市民の不安も理解しているが、この改正に取り組むことで、人口流出を止め、市の発展に尽くす一つの政策と考え賛成討論とする。

### 賛成討論 (勝又貞夫)

地下水は市民の共有財産にも関わらず利用できる人できない人がある。同じ税金を払いながらこの違いがある。節水についての考え方は大変不安に思うが、今この議案については、市民に求められる公平性のために賛成する。

## 討論

### 賛成討論 (南魚みらいクラブ)

林市長は、市民と地下水は限りある貴重な資源との共通認識を持ったうえで地盤沈下区域の消雪井戸の掘削を認め、総揚水量を規制する基本方針を示した。市民から不安の声もあるが、状況をつぶさに調査、点検し臨機応変に対応すること。公共の消雪設備の節水への取組も約束してもらい賛成討論とする。

### 賛成討論 (南魚政策研究会)

中心市街地の住民は除雪に係る時間がほかの地域より長いという事実があり、今回生活そのものの時間利用の平均化も加味した条例変更に賛成する。科学的な根拠を示し、対応力を備えた条例として地下水の問題に立ち向かう姿勢を期待して賛成討論とする。



# 平成28年度 一般会計決算 認定

【賛成22人 反対3人】で認定されました

**歳入 341億9,730万円**

前年度比  
41億7,347万円減

**歳出 331億9,773万円**

前年度比  
34億8,571万円減

| 歳入 | 年度     | 予算額         | 収入額         | 不納欠損額     | 収入未済額      |
|----|--------|-------------|-------------|-----------|------------|
|    | 平成28年度 | 362億4,905万円 | 341億9,730万円 | 7,920万円   | 28億4,934万円 |
|    | 平成27年度 | 399億2,596万円 | 383億7,077万円 | 1億1,323万円 | 28億2,767万円 |
|    | 平成26年度 | 385億3,472万円 | 353億6,000万円 | 1億1,197万円 | 45億2,726万円 |

| 歳出 | 年度     | 予算額         | 収入額         | 不納欠損額      | 収入未済額      |
|----|--------|-------------|-------------|------------|------------|
|    | 平成28年度 | 362億4,905万円 | 331億9,773万円 | 16億8,943万円 | 13億6,190万円 |
|    | 平成27年度 | 399億2,596万円 | 366億8,344万円 | 19億5,102万円 | 12億9,151万円 |
|    | 平成26年度 | 385億3,472万円 | 342億3,857万円 | 35億8,307万円 | 7億1,307万円  |

決算の詳細は市報10月1日号に掲載されています。



28年度は27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の本格的な実施年となった。戦略的重点施策が掲載された総合戦略の推進で、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現に向けた各施策分野の課題解決が進んだ年だと評価している。選択と集中による事業の整理、公共施設の整理統合など引き続き財政健全化に努めていく。

## 大綱質疑

**Q** 市の将来像である「自然・人・産業の和で築く安心のまち」を実現するための決算について、どう総括しているか。

**A** 28年度は27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の本格的な実施年となった。戦略的重点施策が掲載された総合戦略の推進で、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現に向けた各施策分野の課題解決が進んだ年だと評価している。選択と集中による事業の整理、公共施設の整理統合など引き続き財政健全化に努めていく。

## 平成28年度 一般会計

## 質疑応答

### 歳入

**Q** 観光のパロメーターと考える入湯税が前年度比約233万円減少したが、どう考えるか。

**A** 現行の1200円から1500円への金額見直しや、目的税としての役割など庁内での見直し検討は始めている。

**Q** 固定資産税で、土地の総面積が減少している理由は何か。

**A** 国土調査で、山林が保安林の指定になり、課税から非課税に移行したことが一番の要因である。

### 総務費

**Q** ふるさと納税ウェブシステム使用料が、増額した理由は。

**A** システムは同じだが、「ふ

Q&Aは、一部のみを掲載しています。

るさとチョイス」というウェブサイトを利用した、ふるさと納税申込にかかるカード決算の手数料1%分である。27年度の75件に対し、28年度が131件と伸びている。

**Q** 総合戦略推進事業費の過年度国庫補助金751万円の返還理由は。

**A** 528万円はプレミアム商品券関係である。移住定住事業のCCR C関連で111万円、創業支援事業で該当・交付がなかったため112万円返還している。

### 民生費

**Q** 市単独事業の妊産婦医療費助成費の増額理由は。

**A** 件数の増加によるもので、28年度実績は対象者が772人、件数が3169件である。

**Q** 介護ロボット等導入支援事業補助金では、どこに配置されたのか。

**A** 越南園さんに、センサーで動きを感知する機械が導入された。ベッドから離れた場合に、センサーで分かる仕組みである。

**衛生費**

**Q** 有害鳥獣対策事業費について、28年度の捕獲数増加に伴う対策実施隊員報酬について来年度の予算への考えは。

**A** 農林課からサル1頭当たり8,000円などの補助金もあるため、報酬の変更は予定していない。

**Q** ごみの搬入と、山への不法投棄が増加した。ごみ減量化推進は何をしていたか。

**A** 年によって変動が大きく、長いグラフで見ると家庭ごみは減少している。事業系の大口持込みが昨年から倍増した。不法投棄は、意識の高まりから摘発件数が増えたとも考えられ、量の増減ではなく監視体制を

強化していきたい。

**農林水産業費**

**Q** 予算に計上されていた園芸生産促進事業及びふれあいグリーンツーリズム促進事業が消えた理由は。

**A** 実際の申請までにご本人の予期しない事態等により、補助事業の要件がクリアできないということと補助金導入をあきらめられたということだと考えている。

**商工費**

**Q** 市観光協会への観光PR業務委託料2,700万円ではどういう効果が生まれただか。

**A** 直接的効果は数値的にお答えできるものではないが、新しい取組として観光協会は第二種旅行業登録をした。28年度は10コースの旅行造成、延べ宿泊が241泊と日帰り客が21名で計622万円ほどの売上があった。

**Q** 観光事業補助金について

て、新たに取組んだイベントは。

**A** 大きいものはないが、観光事業補助金の中で六日町温泉開湯60周年に向けた誘客促進事業、上越国際スキー場もうすぐ50周年誘客事業が行われた。

**土木費**

**Q** 個人住宅リフォーム事業について、全体で何世帯を網羅したか。

**A** 22年度から開始し、28年度までで5,650件、4億4,650万円補助した。

**Q** 道路橋りょう維持管理一般経費の橋りょう健全度調査で、異常等はなかったか。今後の予定について。

**A** 570橋のうち275橋の調査が終了し、進捗率は48%である。28年度調査した144橋のうち対策が必要と判断されたのが20橋あり、交付金等を活用し修繕している。調査は5年で完了させる必要があり、財政的にも厳しい中進めている。

**消防費**

**Q** 消防一般管理費の補償金について、消火のために小屋を撤去した費用を税金で賄うのか。

**A** ケースによるが、消防法で消防活動中の緊急措置の損失補償は、基本的に消防で対応するとされている。

**Q** 住宅用火災警報器の設置について、当市の状況や指導は。

**A** 毎年、市内100件を無作為抽出し調査を行う。平成29年の設置率は87・56%である。行政区長や女性消防隊、民生委員と協力し、高齢者世帯の訪問や啓発活動を行っている。今後とも100%に近付けるよう継続していく。

**教育費**

**Q** 土曜日の教育支援活動モデル事業の成果は。

**A** 28年度は小学6年生83人を対象に土曜日の午前中に2時間程度、計8回実施した。算数の基礎的授業を教

育経験者からボランティアで講師をしていただいている。中学校へのスムーズな移行に貢献していると考えている。

**Q** 市指定文化財及び国県指定文化財管理委託料について、この金額で適正に管理されているのか。

**A** 市の指定文化財は、28年度総数108件だが、全部管理できているわけではない。予算付けされているのは、旧三国街道、記念木、古墳群などの草刈り管理委託である。国県も同様に坂戸や飯綱山の古墳群の草刈りなどの管理委託料である。

**原案賛成**（南魚みらいクラブ）

財源の根幹となる市税の中で、50年ぶりの豊作等による農業所得の伸びから個人市民税が増加した。歳出は前年度比34億8,571万円の縮減だったが、投資的大型建設事業の八海中学校、街路樋渡東西線などが総合実施計画に基づき施行された。地方創生事業も少しずつ前進しており、定住促進、雇用拡大、人口減少対策に期待できる。ふるさと納税返礼品の取組みも速やかに立ち上がり、税収の増と地域ブランドの発信で活力が出たと評価し、賛成討論とする。

**平成28年度一般会計決算**

**原案賛成**（市政クラブ）

各分野で、目標とした成果を認める。  
しかし、財政力指数が県内平均を大きく下回り、市の総合的な力の減退が継続している。また、実質収支の黒字、実質収支比率は健全領域にあるが、財政調整基金を取り崩した結果であることを重視すべきだ。  
今後の地方交付税一本算定による地方交付税金の削減への対応や財政需要の増加と多様化に対し、選択と集中、行政改革に鋭意取り組み、市民福祉の向上に努めることを期待し、賛成とする。

**原案賛成**（歩む会）

32年度の合併特例債終了を見据えた中で八海中学校、街路樋渡東西線、し尿受入施設建設等、井口市政の継続事業を進めるとともに、経費の見直し、削減を進めた。「自然・人・産業の輪で築く安心のまち」の実現に向けた財源の確保、ひと・まち・しごと創生総合戦略による取組も一定の成果は出ていると評価する。財政指標の数字に前後はみられるが、市税の収納率が前年度比0.8ポイント上昇している点も評価し、賛成の討論とする。

**討論**

**原案賛成**（南魚政策研究会）

市税は、予算現額比、前年度比ともに増額だが、10年前に比べると8億円ほどの減収であることは見逃せない。  
収入未済額、不能欠損の減額には、県の徴収機構との連携など、収納への懸命な取組み姿勢が見て取れる。徹底した経費削減の中でも、予算編成時の執行計画に沿った財政執行がなされていると認める。  
課題は多くなるが、進めるべきこと、出来ないことを勇気を持って判断し、南魚沼市のさらなる発展に力を尽くすことを期待する。

**原案反対**（日本共産党議員団）

一般会計決算で年度末起債残高は419億円、全会計では888億円で大きな荷物だ。  
青年層が子どもを生み育てられる環境が必要だ。市民は、せめて近隣並みのサービスを望んでいる。  
大和病院の5床増は評価する。「療養病床」の閉鎖は切実で、実態に即した対応と思う。  
CCRCはあくまでも民間企業がやることで、行政が深入りするものではない。  
今市政に望まれていることは、生活の安全・安心と暮らす応援が急務だ。

**平成29年度 南魚沼市一般会計補正予算（第3号）**

**7億4,883万円追加して、**

**総額 318億1,538万円に**

**補正予算による主な事業**

- 移住・定住促進事業費  
1,128万円  
首都圏移住・定住PR関連、生涯活躍のまち形成事業計画の策定業務など各種業務を委託します。
- ふるさと納税推進事業費  
2億8,636万円  
返礼品等業務委託やウェブシステム使用料ほか、ふるさと納税推進のため宣伝を行います。
- ほのぼの広場事業費  
5,331万円  
イオン六日町店への移転に伴う運用費や人件費、その他施設整備を行います。
- 妊産婦医療費助成事業費  
150万円  
今年度4月からの実績により不足が見込まれることから、増額します。
- 市民会館大規模改修事業費  
1,124万円  
寄附金を財源に、2年計画で市民会館トイレの洋式化及びウォッシュレット化します。



# 総務文教委員会 付託審査

(平成29年9月11日)

Q & Aは、一部のみを掲載しています。

## 陳情第1号

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

良い。

## ◆賛成多数で採択

## 陳情第3号

「旧六日町小学校の教室棟の天井のアスベストについて」

## 【意見】

・石綿健康被害救済制度によって、補償体制が確立されている。因果関係の立証など大変な時間と労力がかかるので、救済制度を利用したほうが本人のためと言える。

・この問題については、旧六日町小学校だけではなく大きな範囲で見るときではないか。  
・可能性があるのであれば、検討すべきだ。

## ◆賛成少数で不採択

【意見】  
・公立高校がある中で、自ら私立高校を選択している。公私間に多少の差があっても当然ではないか。  
・公立高校の試験に合格できなかった生徒がやむなく私立を選ぶこともある。この地域では、近くて長岡まで出なければならず交通費の面でも負担が大きくなるので、サポートしたほうが

# 産業建設委員会 決算審議

(平成29年9月8日)

Q & Aは、一部のみを掲載しています。

## 第89号議案

平成28年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について

A ルール分でも一般会計から十数億円の繰入金がある状況で、使用料金の値下げは大変厳しいと言わざるを得ない。今後も検討、努力はしていく。

## ◆全会一致で認定

## 第90号議案

平成28年度南魚沼市水道事業会計決算認定について

A 断言することはできないが、平成35年以降は企業債の償還が相当減少するため、料金収入が減少しても値下げが大きく影響しないと考えている。

Q 水道使用量が減少する中、新規開拓ができなければ経費削減等の検討が必要と考えるが。

A 人口減少や節水意識の高まりから使用量増は見込めない。地域連携や大口事業者の誘致など簡単ではないが、検討は進めていきたい。

## ◆賛成多数で認定

Q 水洗化率が徐々に向上しているが、使用料金は減額の見込みがあるのか。

Q 今後、アンモニア等のガスによる金属腐食や、不明水にかかわる修繕が必要ない見込みはあるか。

A これまでに実施したカメラ調査の範囲では、影響はみられない。今年度はマンホール修繕の予算付けをした。

Q 現在の水道料金を維持したまま、キャッシュフローが維持できるのか。

A 当然、地盤沈下への影響を心配している。浄水場の延命化を図りながら、非常用水源の確保を継続し、調査検証していきたい。

# 社会厚生委員会 決算審議

(平成29年9月7日)

Q & Aは、一部のみを掲載しています。

## 第84号議案

平成28年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について

**Q** 一般被保険者国民健康保険税の収入未済額は、この6年間で約半分になったが、0円に近づけていける見込みは。

**A** 徴収の徹底と、不納欠損処理の成果だと思う。更に少なくする努力はするが、徴収困難者は必ず発生するであろうし、すぐに不納欠損にはできないため、0円にすることは難しい。

**Q** 減免を受けかつ滞納している事例はあるのか。

**A** 減免の対象者と非対象者における滞納者の比率は同等であった。どの所得段階においても、平均的に滞納者は発生することが分かる。

## 賛成多数で認定

## 第85号議案

平成28年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について

**Q** 保険給付の中で調剤が大きく減少している要因は。

**A** 詳細は不明だがジェネリック医薬品の影響に加え、高い薬を飲む人がいなくなったと考えられる。

## 賛成多数で認定

## 第86号議案

平成28年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について

**Q** 食の自立支援事業委託料(任意事業)の実績は。

**A** 27年度は95人で7,312食、28年度は81人で5,389食である。介護予防

生活支援サービス事業への移行で、減少した。

**Q** 筋力づくり教室には、専門の市職員が配置されているのか。

**A** 保健課保健師1名が専門で担当しており、その上司もサポートしている。包括支援センター職員も、運営に携わっている。

## 賛成多数で認定

## 第87号議案

平成28年度南魚沼市城内診療所特別会計決算認定について

**Q** 在宅酸素が減ったのは、必要とする患者が減ったためか。

**A** 常勤医師が退職する際、後任が決まらず在宅酸素の使用患者を他の医療機関に紹介したことによる減である。

**Q** 診療収入及び介護保険収入が30%以上減少した。限られた財源の中で方向性は出ているのか。

**A** 対応を検討している。正職員として地域に根差したかかりつけ医になってもらうことが一番の方策だと思う。そのタイミング・結果によって方向性が変わってくる。

## 全会一致で認定

## 第91号議案

平成28年度南魚沼市病院事業会計決算認定について

**Q** 大和病院では当初予算よりも給与費の支出が少なかったが、要因は。

**A** 看護スタッフで、育児休業取得者が2人いたこと、年度途中の退職者に対する補充ができなかったことによるものである。

**Q** 大和病院の土壌汚染等調査委託料が予算よりかなりの増額となったが、内容は。

**A** 建物と舗装部分を解体前に調査しなければならぬ。建物は当初から予定されていたが、解体する面積が予定より広がり、アスフ

## 全会一致で認定

アルト舗装部分の範囲も広がったため増額となった。



## 平成29年 9月定例会の全議決結果

| 議案番号    | 市長提出議案  | 採決結果     |
|---------|---|----------|
| 第 21号報告 | 専決処分した事件の承認について<br>(平成29年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第1号)) | 承認(全会一致) |
| 第 22号報告 | 専決処分した事件の承認について<br>(平成29年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号))    | 承認(全会一致) |
| 第 75号議案 | 南魚沼市議会議員及び南魚沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について    | 可決(全会一致) |
| 第 76号議案 | 南魚沼市地下水の採取に関する条例の全部改正について                       | 可決(賛成多数) |
| 第 77号議案 | 南魚沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について                  | 可決(全会一致) |
| 第 78号議案 | 南魚沼市手数料徴収条例の一部改正について                            | 可決(全会一致) |
| 第 79号議案 | 南魚沼市立学校設置条例の一部改正について                            | 可決(全会一致) |
| 第 80号議案 | 南魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について                     | 可決(全会一致) |
| 第 81号議案 | 南魚沼市立ゆきぐに鍼灸治療院条例の一部改正について                       | 可決(全会一致) |
| 第 82号議案 | 小栗山サンスポーツランド条例の一部改正について                         | 可決(全会一致) |
| 第 83号議案 | 南魚沼市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について            | 可決(全会一致) |
| 第 84号議案 | 平成28年度南魚沼市一般会計決算認定について                          | 認定(賛成多数) |
| 第 85号議案 | 平成28年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について                    | 認定(賛成多数) |
| 第 86号議案 | 平成28年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について                   | 認定(賛成多数) |
| 第 87号議案 | 平成28年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について                      | 認定(賛成多数) |
| 第 88号議案 | 平成28年度南魚沼市城内診療所特別会計決算認定について                     | 認定(全会一致) |
| 第 89号議案 | 平成28年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について                       | 認定(全会一致) |
| 第 90号議案 | 平成28年度南魚沼市水道事業会計決算認定について                        | 認定(賛成多数) |
| 第 91号議案 | 平成28年度南魚沼市病院事業会計決算認定について                        | 認定(全会一致) |
| 第 92号議案 | 平成29年度南魚沼市一般会計補正予算(第3号)                         | 可決(全会一致) |
| 第 93号議案 | 平成29年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)                   | 可決(全会一致) |
| 第 94号議案 | 平成29年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)                  | 可決(全会一致) |
| 第 95号議案 | 平成29年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)                     | 可決(全会一致) |
| 第 96号議案 | 平成29年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算(第1号)                    | 可決(全会一致) |
| 第 97号議案 | 平成29年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第2号)                      | 可決(全会一致) |
| 第 98号議案 | 平成29年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)                       | 可決(全会一致) |
| 第 99号議案 | 平成29年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第3号)                       | 可決(全会一致) |
| 第100号議案 | 市道の認定について                                       | 可決(全会一致) |
| 第101号議案 | 工事請負契約の締結について<br>(公大処第1号 大和クリーンセンター機械設備更新工事)    | 可決(全会一致) |
| 第102号議案 | 南魚沼地域土地開発公社の解散について                              | 可決(全会一致) |

| 議案番号  | 請願・陳情   | 採決結果      |
|-------|---|-----------|
| 陳情第1号 | 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について                       | 採択（全会一致）  |
| 陳情第2号 | 「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する陳情 | 採択（賛成多数）  |
| 陳情第3号 | 旧六日町小学校の教室棟の天井のアスベストについて                              | 不採択（賛成少数） |

| 議案番号  | 議員発議案   | 採決結果     |
|-------|---|----------|
| 発議第5号 | 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について                        | 採択（全会一致） |
| 発議第6号 | 学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について | 採択（賛成多数） |
| 発議第7号 | 道路整備財源の確保に関する意見書の提出について                           | 採択（全会一致） |
| 発議第8号 | 南魚沼市議会委員会条例の一部改正について                              | 採択（全会一致） |

## 賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退・欠席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

| 議案     | 歩む会 |     |     |     |     | 市政クラブ |      |      | 新生市民クラブ |       |     | 南魚政策研究会 |      |      | 南魚みらいクラブ |      |      |      |     | 日本共産党議員団 |      |      | 無所属  |      |      |      |      |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|------|---------|-------|-----|---------|------|------|----------|------|------|------|-----|----------|------|------|------|------|------|------|------|
|        | 氏名  | 菅木晶 | 鈴木一 | 塩谷雄 | 牧野晶 | 阿部久夫  | 桑原圭美 | 腰越晃夫 | 阿部俊夫    | 田中せつ子 | 佐藤剛 | 寺口友彦    | 中沢俊一 | 永井拓三 | 中沢一博     | 樋口和人 | 塩川裕紀 | 清塚武敏 | 小澤実 | 関常幸      | 若井達男 | 黒滝松男 | 中沢道夫 | 田村眞一 | 岡村雅夫 | 広田公夫 | 勝又貞夫 |
| 第76号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ×    | ○       | ○     | ×   | ×       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ×    | ○    |
| 第84号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    |
| 第85号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    |
| 第86号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    |
| 第87号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    |
| 第90号議案 | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    |
| 陳情第2号  | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ×    | ×    | ×        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 陳情第3号  | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ○     | ○    | ○    | ○       | ×     | ×   | ×       | ×    | ×    | ×        | ×    | ×    | ×    | ×   | ○        | ○    | ※    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 発議第6号  | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○     | ○    | ○    | ○       | ○     | ○   | ○       | ×    | ×    | ×        | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○    | ※    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

# 一般質問

### 質問順位

1. 寺口 友彦
2. 小澤 実夫
3. 岡村 雅道
4. 中沢 剛
5. 佐藤 雄男
6. 塩谷 寿達
7. 若井 眞一
8. 田村 博
9. 中沢 一博
10. 田中 子晶
11. 牧野 拓三
12. 永井 裕紀
13. 塩川 久武
14. 阿部 敏夫
15. 清塚 俊一
16. 広田 俊夫
17. 中沢 常幸
18. 阿部 一晃
19. 関 鈴木
20. 鈴木 圭美
21. 腰越 和人
22. 桑原 貞夫
23. 樋口 勝又
24. 勝又 貞夫



新市民クラブ  
寺口 友彦

## 野球場の事業評価を市民に知らせよ

**答** 今年度は無理だが、スピード感をもってやる

**Q 問** 野球場建設は大きな市民運動を起こした。事務事業報告の情報が庁舎内に留まっている。市民の皆様と情報を共有することは市民参画にとって重要だ。

**A 市長** 東京六大学オールスターなどで見るものを



### 一般質問とは…

議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたすものです。



大原運動公園野球場

提供する点や、BMSへの管理を委託したことにより利便性向上にも効果があった。大原運動公園は公表対象ではないため、今後検討する。

## 市民病院敷地内に、民間医療機関を

**答** 公と民の連携の中で考えよう

### Q 問

市民病院のリハビリ部門充実、民間医療機関との連携が前提であった。前市長は、病院敷地内に医療モールを造り、脳血管障がいへの回復リハビリに力を入れると言った。

### A 市長

病院の敷地25,200㎡で、駐車場部分が500台用の16,000㎡だ。330人の職員と、一日の外来患者420人に対応する面積を引くとわずかしかない。医療モールが難しいとは言っていない。地域内の病院連携は重要であり、関係機関との話し合いを継続している。



南魚みらいクラブ  
小澤 実

## 局所的豪雨災害の対応策は

**答** 多面的機能支払いが一番早く復旧できる

### Q 問

7月18日積乱雲が带状「五箇から三用地区」に5時間、16・5ミリ（国交省雨量計が東開発センターに設置）の雨が記録された。市は地域防災計画を平成20年に作成し平成25、27年に修正し現在に至っている。当市は中山間地域であるため、局所豪雨に弱い。災害時の復旧対応策はいかに。

### A 市長

国の査定対象は農地、農業用施設、林業施設災害復旧事業は一ヶ所40万円以上、公共土木災害では一ヶ所60万円以上のものだ。他には市の起債で対応し、重機の借上費なども出している。多面的機能支払い事業での対応が一番早い。また、市

の土木災害復旧費、地域づくり協議会の基礎事業でも対応できる。

## 災害時の市民への周知について

**答** ラジオと携帯へ流すのが早い

### Q 問

防災ラジオではなく防災行政無線に切り替えはできないか。

### A 市長

検討したが雨・風や電波の不具合で聞こえない事があるという事例が他市町村である。情報の伝達方法は、エリアメールやFMゆきぐにの割り込み放送で対応する。



日本共産党議員団  
岡村 雅夫

## CCRCCより暮らし応援撤退の決断を

**答** リスク低減の新たな手法を協議中



Q 質 問

① 「居住棟建設は、市がリスクを負わないで、事業者負担を低減できる調整を進めている。」は方針変更か。

② 3年も協議を重ね、事業性の検証・事業計画・市負担も示さずに推進か。「企業が開発」の原点に返れば、この議論は必要ない。市民の暮らし応援が急務と考ええる。撤退を判断せよ。

A 長 市

① 変更でない。新たな手法を協議している。  
・土地取得や戸数を移住者の数に合わせて整備。  
・土地所有者による建設を行い、借り上げる。  
・空き家の活用。  
・地権者との交渉や関係機関との協議を市が支援。

② この事業無くして移住・定住問題を示せるなら対策を示せ。正しく伝わっているかは反省している。

原発再稼働について

答 市民の安心・安全を守る

Q 質 問

現状での再稼働は反対と公約しているが、柏崎刈羽原発の審査で、合格となった場合の考えを伺う。

A 長 市

市民の生命と財産守る観点から反対してきた。全容の検証なしには再稼働容認に至らない。県の検証に注目していく。



日本共産党議員団 中沢 道夫

個人の雪処理に市が積極的に関わっては

答 現時点では考えていない

Q 質 問

① 地下水の規制条例が改正され、井戸の掘削が可能になる。井戸が掘れない、既存の井戸が涸れた場合には、自分で雪処理が困難な人を積極的に支援する考えはないか。

② 長野県栄村では、冬期間に非常勤特別職員として「雪害対策救助員」20名を雇用し、全体の2割近い世帯の

雪処理を行っている。同様の制度を実施する考えはないか。

A 長 市

① 高齢者世帯等の補助制度を変えるつもりはない。将来的には考えていかなければならないが、現時点では新たな制度を設ける考えはない。

農業政策の転換を国に求めていく考えはないか

答 事態に合わせて対応する

Q 質 問

① 減反廃止に伴う生産と集荷の方針が示されたが、米価の安定が図られると思うか。

② 2市1町の議員協議会の要望でも、事実上の直接支払を求めているが、市長として要望する考えはないか。

A 長 市

① 需要と供給のバランスを保って価格を維持していく。  
② 要望は出来ないが、様々な事態に応じて新しい制度の創設なども必要なら求めていく。



新生市民クラブ 佐藤 剛

中小企業振興基本条例をどう生かすか

答 産業振興ビジョンの中で進める

Q 質 問

市内企業のほぼ100%が中小企業、小規模事業所であり、その中小企業が市の経済を支え、市民の生活も支えている。このことから、行政も企業も商工団体も市民も皆で役割をもって、この中小企業、小規模事業所の持続的発展を支援する条例が制定された。この期待は大きいが、理念を示した条例であり、制定しただけでは具体的な行動も、真に望む効果も出さない。

先進地のように理念条例に実効性を持たせるために、中小企業振興の基本計画を立て具体的、計画的な支援とその進捗管理が必要だと思いがどう進めるか。

A 長 市

市では、地方産業育成資金等行っているが、県の融資制度が充実したこともあり、融資を受けた際の信用保証料の補給を支援する方向で進めている。  
3月の中小企業振興基本条例制定後は、クラウドファンディングを活用した支援を始めた。

この条例を受け、商工会等と具体的な取組は決まっていない。振興のための基本計画を立て進める考えは今のところなく、これから策定する産業振興ビジョンの中で進めていきたい。



歩む会 塩谷 寿雄

北朝鮮のミサイル発射後の市民の安全確保は大丈夫か

答 早急に各担当と対応を検討している

Q 質 問

8月29日朝6時2分に政府からのエアリアルが鳴り、テレビをつけた。

「頑丈な建物に避難してください。詳しいことは自治体にお尋ねください。」と繰り返し放送された。

①市として避難する建物を指定するののか。

②通学児童の避難、または指示は。

③当日市に問い合わせたが当直者のみで、職員対応はなかった。今後は。

**A**市長 ①検討中である。  
②担当課と検討中である。

③職員も避難の対象である。今後検討する。

**来年度の南魚沼産コシヒカリの販売促進は**

**答** 両JAなど中心に行っていく

**Q**質問 生産調整廃止に伴い、高値で売切れば作付面積を増やせると思う。また、

大手コンビニなどで2、3合のパックを全国販売する、デイズニールランドで日本一の米をミッキーの袋に入れミッキーライスというような営業販売努力をしては如何か。

**A**市長 ふるさと納税の効果は、携わる人が試行錯誤を始めたことだ。協議会での取組や様々な可能性がある。実現できるようお願いを拜借していきたい。



南魚みらいクラブ  
若井 達男

**林市長の目指す南魚沼市とは**

**答** 若者が帰ってこれる、住み続けられるふるさとと南魚沼に

市長就任以来一年を迎えようとしている。選挙公約への実現、日常の市政運営に正に邁進中である。敬意を表す。

質問で多くの項目を上げましたが、どれ一つ取り上げても重要であり、一項目でも30分から一時間はかかる。私は議員最期の質問となるが、答弁の足りないところは道端でお会いした時にも伺う。

**Q**質問 ①人口減少問題への取り組みは如何か。

②地域医療と福祉の取組みは如何か。  
③国の生産調整廃止後の市の米生産への取組みは如何に。  
④市財政への考えは。  
⑤新年度予算編成の基本的な考えを伺う。

**A**市長 第一義は、市で生まれた方は市で育てていく。かけがえない帰ってこられるふるさと南魚沼である。

今後より一層、手綱を引き締めて勇気をもって市政運営、財政運営に立ち向かっていく。



日本共産党議員団  
田村 真一

**商売が続けられる払える国保税に**

**答** 引き下げは困難

**Q**質問 日本共産党が7月実施した市民アンケートでは6割の方がくらしが「苦しくなった」と答えている。

新潟県商工団体連合会が1月実施したアンケートでも、滞納の税目で一番多いのは国保税だ。商売が続けられるよう払える国保税にすべきだ。

**A**市長 当市の所得割り税率は11・12%で、同じ方式の市町村平均値12・21%を下回っている。22年度以降税率を据え置き、県内では低い方である。26年度から法定外繰入を行っており、これ以上の引き下げは困難である。

**北朝鮮のミサイル発射への対応は**

**答** 市民への情報伝達と迅速な体制をとる

**Q**質問 市民の不安をとりのぞくための市の対応は。

**A**市長 大変な問題だ。しかし、こういう国際社会の問題は一地方自治体で解決できるものではない。市民に



情報を伝え迅速な体制や対応をとることである。



南魚政策研究会  
中沢 一博

**当市の地域包括ケアシステムの構築推進を具体的に**

**答** 着実に進める

**Q**質問 当市の介護基盤強化について伺う。

①第七期介護保険事業計画の方向性は。  
②認知症対策における初期支援チームの設置が急務と考えるか。  
③介護休業制度の拡充を。  
④介護職の処遇改善は進んでいるかと同時に介護人材不足に、市独自で「認定ヘルパー資格養成制度」を設け人材確保と予防を進めてはどうか。

⑤介護支援ボランティア制度の創設を強く求めるが。

**A**市長 ①第六期計画で目指した地域包括ケアシステムの構築を着実に進める



と共に、見える化システムを活用し、自立支援・介護予防に向けて進めて行く。  
②平成30年4月設置を目指し、進める。

③介護休業制度も1月に改正され、結果を見た中で周知を図って行きたい。

④市内30事業所中、28年度は29事業所で処遇改善されている。29年度は15事業所が申請した。ヘルパー養成研修は県が義務づけている。市独自で必要かどうか見極めながら進めて行きたい。  
⑤65歳以上の高齢者に介護支援ボランティアの活動を通して、自ら健康増進や張り合いを持って頂く事に期待し、先進地の実行効果などを見極めながら実施に向けて検討したい。



新生市民クラブ  
田中せつ子

### 第3次南魚沼市男女共同参画基本計画について

**答** 行政として出来る事に取組む

**Q** 質問

① 中学校の男女混合名簿が進んでいない。統合八海中学校はどのように考え進めるか。

**A** 市長  
② 行政区役員の女性割合が低いままである。役員選考リストに女性が少ないのは。新たな取組は。

**A** 市長  
① 来年度に向け、学校関係者に前向きな検討をお願いする。  
② 男女共同参画推進月間の時に力を入れて広報するが、地域独自の運営の為、行政からのお願いは難しい。

### 市は、民間企業の手本となっているか

**答** これからも改善に努める

**Q** 質問

① 有給休暇の取得率は。退職時に全消化できているか。  
② 育児休業取得率は向上しているか。

**A** 市長  
③ メンタルヘルスケアにはどう取組んでいるか。  
④ 病院職以外の女性管理職が少ない、育成と登用は。

**A** 市長  
① 年平均10日前後の取得で、退職時に全消化する人はいない。  
② 女性は100%、男性0%、今後は男性が短期間でも取得できるように取組む。  
③ ストレスチェック、面接カウンセラー利用等、チェック体制がある。  
④ 女性管理職3人が講師となって研修して、積極的に取組んでいる。



歩む会  
牧野 晶

### 南魚沼応援団名簿を作成せよ

**答** 準備をつくる

**Q** 質問

ふるさと納税者、スキー場や宿泊施設利用者の名簿を市で集め、メール、SNS、郵便などで南魚沼の情報を発信しリピーターを増やすべき。

**A** 市長  
個人情報、目的外利用ができない。しかし、ご縁があった方とのつながりは大変利点があると認識している。本人希望を確認するなどして、情報発信したいと考えている。応援していただけの仕組みづくりを進める。

### ご当地ナンバー選定について

**答** 魚沼圏域にふさわしい名称を決めていく

**Q** 質問

① 選定方法や流れは。  
② 国が難色をしめしても地域に一番ふさわしい地域名にするべきだ。

**A** 市長

① 8月24日に南魚沼市、魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町で実行委員会を設立した。今後下部組織の協議会を設立し、地域名と図柄を検討していく。  
地域名は、今年度中に決す必要がある。協議会の様々な意見を含め、国と事前協議をして決めていきたい。導入が決定すると32年度からの利用となる。

② 最後は協議会及び実行委員会決定する。最終決定が却下されないよう、事前協議など慎重を期していく。



南魚政策研究会  
永井 拓三

### 市立小学校／中学校のトイレ問題

**答** 段階的に改修していく

現代の家庭のほとんどが洋



式。公共の場など社会ではまだ和式が存在する。このギャップのせいで実は子供たちが学校で大便ができない問題が発生している。大便ができないことのストレスなどで体調を崩すだけではなく、いじめ問題に発展するケースも報告されている。和式トイレの方が腸に刺激を与え、体には良いとも言われている。社会事情と機器のギャップを今後どう埋めていくかが課題である。

**Q 質** ①市の保育園、学校等でのトイレの改修計画はあるか。

②和式トイレから派生する諸問題を市はどのように捉えているか。

**A 教育長** ①各学校の改修計画に沿って段階的に改修していく。また、市民からの寄付なども含めて検討の余地がある。避難場所としてのあり方の中で和式と洋式の比率を考えていく。

②教育的観点からも、いじめや健康に害を及ぼさないような対策を取っていく。

トイレから派生するいじめ等の問題の重大さは理解している。



南魚みらいクラブ  
塩川 裕紀

### 所有者不明土地について

**答** 可能な限り所有者を特定していきたい

**Q 質** 法務省は、相続登記を促していくとのことである。日本全体で所有者不明の可能性がある土地の総面積が、九州よりも広い約410万ヘクタールにのぼるとする有識者の推計も公表された。わが市においても、所有者不明の状態が続くと、固定資産税の徴収や公共事業の妨げになるといった問題がある。現状と対策を伺う。

**A 市長** 当市では、固定資産税の納税義務者の所在不明により、納税通知書が届かず徴収不能となった件数が今年度160件、前年度から10件増加し、懸念している。

通知不到達の対策として、所有者の追跡や相続人の調査など税務調査権の範囲で関係機関に照会、調査を行っていく。

### 統合八海中学校の生徒のメンタルケアについて

**答** 教職員部会で検討している

**Q 質** 来春、八海中学校が再編整備が進められる中、特に受験を控える生徒の心のケア、サポートについて、考えを伺う。

**A 教育長** 関係する教職員部会で、合唱交流会、合同学習、新しい校歌と出会う会等を検討している。受験を控える生徒、保護者に文書を配布し、安心して勉強できる環境をつくっていくことを伝え、サポートしている。



歩む会  
阿部 久夫

### 巻機山を中心とした山々を国立公園に組み入れを

**答** 南魚沼市に有益かどうか検討する

**Q 質** 巻機山は、現在魚沼連峰県立自然公園区域であり、日本百名山として年間3万人からの登山者が訪れている。

頂上付近は豊富な高山植物と神秘的な池塘群、春にはシヤクナゲ・ニッコウキスゲ・ハクサンコザクラなどの珍しい花々が咲き誇る。また、珍しいアマツバメが営巣する洞窟もあり、保護区に指定されている。南には谷川連峰・苗場山・志賀高原・浅間山などの上信越高原国立公園などがある。

巻機山を中心とした金城山・朝日岳・大源太山を上信越高原国立公園に組み入れていくべきと考えるが。

**A 市長** 入り口から、やるやうに話でなく、どういうことが出来るのか、まずは関係集落や関心が高い方たち話を聞き、環境省にも行って話を伺う。また、前述の妙高市の現状や経緯など、私なりの調査を踏まえて検討したい。



南魚みらいクラブ  
清塚 武敏

### 公共施設の今後のあり方は

**答** 財政状況に見合った施設の削減をしていく

**Q 質** 公共施設の整備更新や維持管理の財源に限りがある中で、今後の公共施設の在り方は。

①公共施設等総合管理計画のマネジメントシステムの効果と期待は。

②防災拠点や一時避難所になっている地区センター等の施設には旧耐震、未補強の施設もある。その対応は。

③老朽化が進んでいる公営住宅は縮小していくのか。

**A**市長 ①長寿命化を図りながら、財政状況に合わせ、中長期的に10年で11%、30年で15%削減していく。

②公共施設管理計画に基づき、更新、統廃合、長寿命化を図る。優先順位を検討し、避難場所の空白地域が生じないよう十分な検討をする。

③木造等の老朽住宅は今後除却を進めていく。入居世帯の予測に基づき適正な管理戸数まで計画的に削減していく。

**答** 郷土学習にどう取り組んで行くのか

**答** 地元の伝統や素晴らしいを紹介していく

**Q**問 地域には郷土の発展に貢献した先人たちの苦勞や、伝統芸能や、お祭り、自然が多くある。子供たちに郷土学習をどう伝える。

**A**市長 次世代に継承していくことは責務である。郷土に愛着、誇りをもつ若者

を育てることは重要であり、若者が住み続け、帰って来れることに繋がる。



無所属 広田 公夫

**市職員の意識の向上を**

**答** 幹部職員との朝礼で示していく

**Q**問 幹部職員の副市長・管理者・部長には、市長の公約実現に向け、どの様に示しているのか。

**A**市長 私が経営者として体得した事は、言葉では人は動かない。人は意識を変えるためには、たとえば行政の事業を通じた達成感や気づきでしか変わらない。

後藤田正晴元官房長官の「五戒」を組織の在り方としていつも話している。私の机の上にいつも置いてある。

後藤田正晴元官房長官の「五戒」

1. 省益を忘れ、国益を想え
  2. 嫌な事実、悪い報告をせよ
  3. 勇気を以って意見具申せよ
  4. 自分の仕事に非ずというな
  5. 決定が下ったら従い、命令は直ちに実行せよ
- 以上

**小学校・中学校のタブレット教育について**

**答** 現状、持帰り運用の試行は考えていない

**Q**問 他の市では、持帰りを検討している。

当市は、予算的に、全児童生徒にタブレット貸与は無理だが、早期実現に向けて、持帰り運用を試行する時期はいつ頃か伺う。

**A**市長 不登校や入院等で学校に來れない児童・生徒についての検討はして行きたい。



新生市民クラブ 中沢 俊一

**移住受け入れ策は「断・捨離」の視点で**

**答** 複数の角度から捉えた移住を推進

**Q**問 林市政発足から十カ月。前市長から引き継いだ政策に独自色を施す時期だ。行政の継続性は尊重するべきだが、引き継ぎ策に断・捨・離の姿勢で臨むことも新任者の責務だ。

南魚沼版CCRCの戦略については、首都直下型地震や近隣国のミサイル攻撃までも視野に入れた、首都圏の各種災害からの「人材」移転との観点から捉える事も大切である。

地方が経済面で利益を得る規模の移住は、国策あるいは東京都のからむ策でなければ不可能だ。国際大学の持つ35年にわたる修了生人脈活用は、国家戦略特区に使える。そうした切り口で戦略を見直

すことが必要だ。

**A**市長 防災は市の進むべき人の交流も生み出せる防災の姿もあると考え、準備をしている。テロやミサイルは想定していないが、首都圏直下型地震が必ず起こると言われる状況で、既存の災害協定を結んでいる自治体と、さらに一歩進めた体制づくり、国からの指示を待たずとも有事には初動をとれる体制作りが必要だ。



市政クラブ 阿部 俊夫

**厳しい財政に対する認識と予算査定に臨む姿勢を伺う**

**答** 深刻な状況と認識、努力をしたい

**Q**問 自主財源の柱の市税は十年間で八億円も減少、三割以上の依存の国税五税を原資とする交付税会計も大幅赤字だ。合併特例優遇期限と交付税一本算定が迫る中、病院事業、ゴミ処理施設、



インフラ老朽化等難問は山積している。財源裏付けを持つ市長公約の責任は重く、市民の期待は大きい。厳しい財政に対する認識と予算査定に臨む考えを伺いたい。

**A市長** 人口減で市税も減、歳入不足は免れない。高齢化で扶助費等の増加は抑制出来ず、深刻な状況と認識している。実施計画に基づく事業の選択をし、公約に掲げた施策の実現にスピード感をもって進めるよう努力したい。

**寄付を受けた貴重な美術品の有効活用について**

**答** 条件を整えば有効活用したい

**Q質問** 各館の美術品は様々な事情があるが、貴重な財産として有効活用することとは、寄付を受けた市の責任である、貸出等の実態はどうなっているのか。

**A市長** 私の知らない事情を拝聴し、次世代に引き継ぐ責務を痛感した。市の貴重な財産なので、管理・保存

に万全を尽くし、貸出しも案件の整った所に限って検討し、有効活用を計りたい。



南魚沼市議会 常任委員 関 常幸

**南魚沼市の未来とその戦略について**

**答** 課題解決に向け、一歩ずつ進める

**Q質問** 選挙公約「ふるさと納税」「全天候型子ども広場」「井戸規制の新規掘削容認」とスピード感を以て取組み、水道料金の値下げも実行するべく取り組んでおり評価する。

出産・子育て支援、働く場や雇用の確保。スキー産業、自然災害と防災。米、酒、八色スイカの利用等々、多くの行政課題がある。雇用の確保や交流人口の増大をめざし、グローバルITパーク、CCRCと新しい取組を進めている。社会、経済は私どもが考え

るよりはるかに早く進み、安心安全で快適な生活をおくるには、さらなるスピードを以ての実行が不可欠。

そのためには、南魚沼市の未来の姿が見えなくては、市民は不安だ。林市長が描く「南魚沼市の未来とその戦略」について伺う。

**A市長** スポーツ振興を市のエンジンにすべく、近隣市町村とも連携を図る。世界に活躍する国際大学卒業生とのネットワークや雪の活用など、当市ならではのまちづくりに取り組んでいく。



歩む会 鈴木 一

**地域コミュニティ事業の更なる充実を**

**答** 予算の上乗せは難しい

**Q質問** 行政は、コミュニティ事業に振り分けるが、予算から無理があり、要望が賄えない。交付金事業の更なる充実が必要と考えるが

市長の考えは。

**A市長** 早く安くが事業のねらいであり、市の財政状況では増額は無理である。

12地域あるので、「ふるさと納税」返礼品として、地域に特化した商品作りが望ましい。そうした返礼品の代金を地域に還元できればと考えている。また、市長おまかせ分からできればと考えている。

**いじめの撲滅は**

**答** 難しい

**Q質問** 小学校時代から長年いじめにあっている子どももいると聞く。何故早くに解決できなかったのか伺う。

**A市長** いじめは本人はもろん、家族・教師も苦しんでいる。

市でも、指導主事・スクールソーシャルワーカーなどを多く配置して、学校全体で取り組む。定期的にアンケートを実施して、状況を的確に把握するようにしている。道徳授業も早めに実施し、子どもたちが生きる上での道徳を学

ばせることができれば、良い方向に進むのではないかと考える。



市政クラブ 腰越 晃

**『若者が帰ってこられる、住み続けられる故郷南魚沼』について**

**答** 市民主導の生涯学習を推進する

**Q質問** 『若者が帰ってこられる、住み続けられる故郷南魚沼』は、時代を超えて向かうべき南魚沼のまちづくりの基本テーマである。

南魚沼に生まれ、故郷を愛し、故郷を誇りとして、逞しく成長し故郷に生きる、生きる場所が故郷でなかったとしても、南魚沼に生まれ育ったことを誇りとして生きる。

その基本は『人づくり』である。市長の『人づくり』と『地域社会の活性化』への思いと、それを常に向上させる施策展開について伺う。



**A**市長

南魚沼市に生まれて地域の歴史や自然、伝統・文化を学びながら、この地に愛着を持ち、誇りを持つ人づくりを行う事は、基本かつ重要であると考えます。

若者が帰って来れる地域の持続的な発展に繋がっていくものである。

南魚沼市後期教育基本計画で推進する生涯学習システム『学びの郷南魚沼プラン』に盛り込まれており、市民主導の生涯学習を推進し、地域の活性化、持続的な発展と次世代への継承を目的として進めていきたい。



市政クラブ  
桑原 圭美

### 小中学校の教育環境の整備を

**答** 大規模改造工事での対応を考える

教育環境の整備を進めることは、南魚沼市の将来を担う子ども達の育成に関わること

であり、行政にとっても重要な課題である。市内の小中学校は築30年以上経過した校舎が多く、時代と生活様式の変化に対応が遅れていることは否めない。

**Q**質問

①小中学校のトイレの改修について。

②教室へのエアコンの設置について。

③部活動の送迎バスの充実について。

④課外活動等への外部指導者の登用について。

**A**教育長

①洋式化率は全国平均よりも低く、国庫補助事業を活用し、大規模改造工事での対応したい。

②使用頻度の高い教室には設置してあるが、普通教室にも設置が必要な時代が来ていると考えており、全校の教室の温度と湿度を調査している。

③大和地区、六日町地区の対応を、先行している塩沢地区に合わせた形で改善を考える。

④教員の多忙化解消と子ども達の好奇心の高揚に寄与するが、総ての事例が成功している訳ではなく、やるの

であれば時間をかけて学校関係者等で意見交換会をしながら進めて行きたい。



南魚政策研究会  
樋口 和人

### 流雪溝事業の進捗状況と今後の見通しについて

**答** 許可が下り次第、進める

**Q**質問

スノーピア道路事業の六日町駅の西側区域の流雪溝について、平成25年6月議会で質問した。前市長より「水の確保が難しいが、今までの調査検討をもとに関係機関と協議を行った結果、流雪溝用水として使用した水を反復利用して十二沢川からの取水がおおむね可能であるとの感触を得ている。」さらに「一日も早く進めたい。」との答弁だった。現在の進捗状況を伺う。併せて現状に則した側溝を整備し所々に集水枘を設け、一度使用した水を再利用するための小型ポンプ

に補助金を出すなどの方法は、考えられないか。

**A**市長

昨年の10月に県に対して申請を出した。

この認可には国への説明が必要なため県での審査が続いている。認可が下り次第進めたい。

(この後、今までは暫定水利権であったが、今後安定水利権取得の方向で県との協議が開始されたとのこと。)



市政クラブ  
勝又 貞夫

### 原発再稼働について、反対の意思表示をせよ

**答** 意思表示は全く考えていない

**Q**質問

日本の原発の中で最も事故の危険性が高いと言われている。世界最大と言われるこの原発で、大きな事故が起これば、南魚沼市にも計り知れない悪影響があると考えられる。その柏崎刈羽原発

に対し、原子力規制委員会は事実上の合格判定を出す見通しとなった。

今後は周辺自治体の同意が得られるかが大きな問題になる。原発再稼働へ向けた最近の動きについては、南魚沼市として近隣自治体と連携し、市民の安全・安心のために、声を大にして原発再稼働に反対するべきであると思う。これについて、市長の見解を問う。

**A**市長

市長選でも公約した通り、市民の生命と財産を守るという観点から、現状での柏崎刈羽原発の再稼働には反対してきた。この思いは現時点でも全く変わらない。原発はコントロールのむずかしい発電施設である。福島原発事故の検証を行ない、県全体で対策を講じなければ、市民の安全は守れないものと認識している。

最近の原発関連の動きもあって、近隣の自治体と連携して、なんらかの意思表示をするということは、全く考えていない。

## 総務文教委員会 管内調査

○期日 平成29年7月10日

- ①南魚沼市トレーニングセンターの利用状況について（含 現地調査）
- ②U&Iときめき課の担う事業と今後の方向性について
- ③公債費の現状と予測について
- ④市税の推移と動向について



## 産業建設委員会 管内調査

○期日 平成29年7月12日

- ①カントリーエレベーターの進捗状況について（含 現地調査）
- ②産業振興ビジョン改定の進捗状況について
- ③平成30年産米の生産調整に係る方向性について
- ④多面的機能支払交付金事業の成果と課題について



## 社会厚生委員会 管内調査

○期日 平成29年8月4日

- ①新ごみ処理施設建設の進捗について
- ②野焼きについて
- ③地下水の採取について

# 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会で、 国、県へ要望活動を行いました。

今年は8月29日に3班に分かれ、国、県の機関に要望活動を行いました。

### 要望事項

- ①一般国道17号新三国トンネルの早期完成と湯沢町・南魚沼市間の改修整備について
- ②公共道路等除雪費を経営事項審査の「土木一式」への計上について
- ③新潟県「公的サポート」モデル事業の拡大、拡充について
- ④国道17号六日町バイパス・浦佐バイパス及び上越魚沼地域振興快速道路「八箇峠道路」の整備推進について
- ⑤東京オリンピック・パラリンピック選手村に「魚沼産コシヒカリ」の採用に関する要望書
- ⑥上越新幹線の活性化と新潟空港への延伸について
- ⑦地域医療を守るための遺志看護師不足解消支援について
- ⑧域内サインの外国語表記推進について
- ⑨魚野川流域の水害対策について



牧野国土交通副大臣



北陸地方整備局

# 北辰小学校5年生が 傍聴に来てくれました

3日目の一般質問を  
傍聴しました。



## 一般質問の 録画映像配信を 始めました



平成29年9月定例会から、一般質問の録画映像を市のウェブサイトでご覧いただけるようになりました。南魚沼市のウェブサイトから、右記の手順でご覧いただけます。

南魚沼市議会

定例会一般質問の録画映像配信

録画映像配信・録音音声放送



このページで  
専用のリンクを  
選択してください。

編集委員 寺口 友彦

4年間、ご愛読いただき  
ありがとうございました。

議会内でどのような議論・質疑が行われているのかをできるだけ多く市民の皆様にお知らせするのがこの議会だよりの役目と考えて編集してきました。  
まだまだ至らない部分が多いとは思いますが、積み残した部分は新編集委員会に送りたいと思っています。

### 編 集 後 記



## 12月議会 予告

12月に市議会定例会を開催します。

12月4日～15日 (予定)

お問い合わせは 議会事務局 (☎773-6650) へ

### 議会広報編集 特別委員

|       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員    | 副委員長  | 委員長   | 委員    | 委員    | 委員    | 委員    |
| 田村 眞一 | 永井 拓三 | 寺口 友彦 | 桑原 圭美 | 塩谷 寿雄 | 塩谷 武敏 | 清塚 武敏 |